

3-12

意欲的企画の取り組み

「私が思う」サービス実現への挑戦！

人材育成

スタッフのやりがい

特別養護老人ホーム 多摩の里むさしの園

| | |
|------------------|--|
| 介護課主任 渡辺 美由紀 | 介護職員 伊藤 夏織 |
| 東京都羽村市五ノ神362番地 | 介護職員 岩井 由美子 |
| TEL：042-555-8151 | E-mail： m-kanemoto@enseikai.com |
| FAX：042-555-8152 | URL： http://www.enseikai.com |

| | |
|----------------------------|---|
| 今回の発表の施設 またはサービスの 概要 | 平成10年に開設した定員150名の特養です。建物の特徴を活かし、25名単位の6ブロック（居住棟）運用を実施しています。「その人らしさを大切に」の法人理念のもと、ご利用者が快適に過ごせるように自立支援を行っています。 |
|----------------------------|---|

〈取り組んだ課題〉

施設が組織活動として実施する委員会活動等には収まりにくい、スタッフの「やってみたい」想いに応える事業活動を設け、サービスの質の向上につなげる試みです。

- 介護スタッフが抱くサービス改善課題を大切にしたい事業企画の策定。
- スタッフの自主的取り組みを重視した小集団活動の展開。

〈具体的な取り組み〉

- 「サービス向上等に資する意欲的企画の取り組み実施要綱」を策定。
 - ・ 4項目のジャンル。
 - ・ 2～5名のやる気あるスタッフでの小集団活動。ブロック（担当棟）、フロアの制限なし。
 - ・ 取り組み期間の選択性（3、6、9ヶ月）
 - ・ 月2回、1回あたり90分の活動時間保証など。
- 「やってみたい企画」7企画の取り組み実践。
- そのひとつ「利用者の生活の向上を図り、よりよいケアを目指す」の実践を紹介。
 - ・ 口腔ケアと其の後の臥床対応を同一職員で実施。
 - ・ 利用者と一緒に食事（他職種職員含む）の試み。
 - ・ 職員と利用者、利用者同士のハンドマッサージでコミュニケーションの活性化。
 - ・ 利用者と職員の茶話会（開催場所を限定しない）。

〈活動の成果と評価〉

- 利用者の希望にも沿った企画の実現ができたことで、利用者の満足感と私たちの達成感が得られた。
- 活動を通して、ルーティンやスケジュール優先を当たり前前にしている点や、目に見える身体的なケアに気をとられ過ぎていることに気づかされた。
- 「してあげたい」私たちの想いが原動力にあるため、ブロック会議や、勤務調整、他職員への働きかけ等に熱意と根気を持ってやり遂げられた。
- 私たち以外の職員にも改善意欲が見られるようになった。
- 取り組みの情報をITを活用して共有することで、助言やヒント提供が得られた。
- ブロック費（自由裁量で使えるお金）の有効活用につながった。
- 「したい」取り組みを通して、ケアメニューが私たちにとってより身近なものとなり、充実してきた。

〈今後の課題〉

- ブロック利用者、職員ともに継続実施の希望があるため、機会確保と他ブロックでの取り組み拡大。
- 意欲的企画から当園の標準サービス化への検討。
- ITを活用した更なる業務改善によるサービスの質の向上を進める。

【メモ欄】